

小学生・中学生の皆さんへ

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a004/kouhou/kuhoujr/arakawakuhojr.html>

あらかわけ報 Jr. は
荒川区ホームページで
ご覧になれます



あらかわけ報 Jr.

ジュニア

ARAKAWA KUHO JUNIOR

No.177 9.30
2026年[令和8年]

発行: 荒川区 発行部数: 23,000部
〒116-8501 荒川区荒川2-2-3
☎(3802) 3111



大切な人を守るリーダーになろう!

消防署で防災体験!



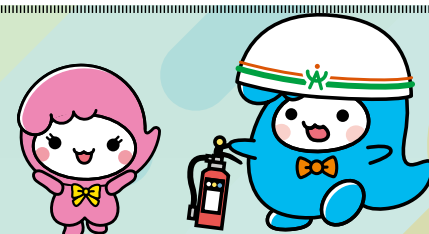
みなさんは普段、防災について意識していますか? 日本各地では頻繁に災害が発生していて、防災への取り組みが急務となっています。そこで大事なことは、命を守るための行動です。今回は、南千住第二中学校のレスキュー部がジュニア記者として、東京消防庁荒川消防署を訪問。ジュニア記者たちが「もしも」の時に備え、防災訓練にチャレンジしました。

[問合せ] 広報・シティプロモーション課 ☎内線2138

次は11月に発行する予定です

あらかわしょうぼうしょ まな
荒川消防署で学ぶ

災害時に役立つ防災アクション



災害が発生すると、すぐには支援や救助の手が届かない可能性があります。そんな時に私たちができることは何でしょう？ 自分自身の身の安全を守る「自助」であり、周りの人と協力し、助け合う「共助」です。その方法には、身の回りのものを使った応急救護や搬送、消火器による初期消火などがあります。いざという時のために、正しい知識と方法をしっかり学びました！

応急救護訓練

応急救護とは、救急隊が到着するまでの間に行う、一時的な救命処置や手当のこと。命を救う可能性を高める大事な役割です。心臓の動きや呼吸が止まった人に胸骨圧迫(心臓マッサージ)などで血液を特に脳や心臓に送る「心肺蘇生」、けがの出血を止める「止血法」、気道に詰まった異物を取り出す「気道異物除去」を実践しました。



胸骨圧迫は1分間に100～120回のテンポで押すよ



救護される方が呼吸しやすいように、片手でおでこを押さえ、指2本であごを上げてから呼吸を確認します。6秒数えても無呼吸なら胸骨圧迫を行います

止血法



額からの出血を想定して実践。三角巾の中央を額に当て後頭部で交差させ結びます。傷口に結び目が当たらないように強く締めます。手ぬぐいやタオルでも代用できます



気道異物除去

窒息すると声が出ないため、両手を首の前で交差する「チョークサイン(窒息のサイン)」で知らせます。気道に詰まった異物を取り出すために、その人の背後から片手の拳をみぞおちに当て、もう一方の手で拳を包んで5回ほど押し上げます



「電気ショックが必要ですよ」と音声の流れたら、救護される方の体から手を離し、周囲の人も触れていないことを確認してからAEDのショックボタンを押します

慌てず落ち着いて行動すれば大丈夫！



松島 礼奈さん

AEDの使い方



AED(自動体外式除細動器)は心停止した人の心臓に電気ショックを与えて、正常な動きに戻す医療機器です。音声に従って電気ショックを与えた後は、直ちに胸骨圧迫を行い、救急車が来るまで、約2分おきに、解析と電気ショックを繰り返します。

参加してみよう！

消防署の救命講習

消防署では、心肺蘇生やけがの手当の方法を習得してもらうため、区民の方や事業所などを対象とした、応急手当の講習会を行っています。

震災や風水害などで、同時に多数の傷病者が発生したときは、平常時のように救急車を期待することが困難となります。そこで、自主的な救護活動が極めて重要となります。

いざという時に備え、自分や家族、周りの人の命を守るため、救命講習で応急救護の知識と技術を身に付けましょう！

東京消防庁のホームページで、区内の消防署で開催される救命講習の日程などをチェックしてみよう！



▲荒川消防署はこちらから



▲尾久消防署はこちらから

地域の防災訓練

区内の町会・自治会では、初期消火・応急救護などの訓練や、町会・自治会の担当者や区の職員が連携して行う避難所の開設・運営訓練を行っています。

荒川区ホームページで、町会・自治会の防災訓練の日程などをチェックして参加してみよう！



▲避難所開設・運営訓練



▶起震車体験

消火訓練

火災発生時、火が小さいうちに行う消火活動を初期消火といいますが、そこで欠かせない消火器の使い方を学びました。火元から3mほど離れて狙いを定め、「ピン(を抜く)、ホース(を持つ)、レバー(を引く)」という合図で、順番に操作しました。

消火器が家や学校のどこにあるか確認しよう



上野 楓さん



火元に向かってノズルの先端をしっかり持って、いざ消火！訓練では、消火薬剤の代わりに氷の入った消火器を使いました

搬送訓練

災害時、けがなどで動けない人を搬送しなければいけない場合があります。そのために必要な道具が担架です。ただし、緊急事態が発生した場合、その場に担架があるとは限りません。毛布・衣類や物干し竿などの身近なものを使って、応急担架を作り、人を運ぶ練習をしました。



前後左右4人で運びます。安全に運ぶため、上げ下ろしは頭に近い方が指揮を取り、「3で持ち上げます。1、2、3」などと声を掛けます



レスキュー部の活動で、応急担架づくりの経験があるジュニア記者たち。スムーズに応急担架を作っていました



佐藤 世歩さん

身近なもので人を運べるんだね！

防災士の資格の取得費用を全額補助

区では、地域防災の担い手を育成するため、区内在住の中学生・高校生の年齢の方を対象に、防災士の資格の取得に係る、費用の全額補助を実施しています。皆さんも地域防災を担う、防災士になりませんか。皆さんのチャレンジをお待ちしています。

荒川区ホームページで、防災士資格取得助成についての制度や、申込方法などをチェックしてみよう！

[問合せ]危機管理課 ☎内線418



荒川消防署から皆さんへ

普段から「もし災害が起きたら」を想定して、家族で避難場所や行動を確認しておきましょう。また、応急救護の訓練は一度でも経験してほしいです。人助けには勇気が要るものですが、訓練経験があればあるほど自信がついて、いざという時にしっかり行動できるからです。

また、家庭でも家具類の転倒・落下・移動防止対策(家具転倒対策)やマイ消火器を備え、白頭から防災対策を行いましょう。



石川 明日香さん

体験してみてもうどうだった？

松島さん●チョークサインを初めて知りました。今日の体験を通して、周りの状況を見る大切さがわかり、視野が広がった気がします。これからは自信を持って行動できそうです

上野さん●印象に残ったのは、心肺蘇生です。もし人が倒れたら率先して動きたいと思いました。今日の体験で得た知識を資料にまとめて、レスキュー部のみんなにも共有したいです



謝さん●消火活動は落ち着いて行おうと思いました。今日の体験を通して、消防士になりたい思いはもっと強くなりました。夢に近づけるよう頑張りたいと思います！

佐藤さん●学校で学んだ訓練の復習ができてよかったです。訓練は繰り返すことで身に付くと感じました。重い装備の消防士さんの消火活動を邪魔しないように、助けになりたいと思いました

Close-up



夏休み子ども消費者講座を開催しました

8月2日、ふらっとにっぽりで、「夏休み子ども消費者講座」が開催されました。小学1〜3年生を対象とした午前の部では、「おこづかいから学ぶお金の話」と題して、講座が行われました。参加者は、消費者としての基本的な知識を身に付けられるよう、貯金箱の工作をしたり、おこづかい帳を使って、お金の大切さや使い方について考え、楽しく学んでいました。

[問合せ]消費生活センター ☎内線477



◀ファミリーカーの貯金箱に色を塗りました

▶おこづかい帳でお金の大切さを学びました



町屋図書館で開館50周年記念イベントを開催中！

町屋図書館は、令和8年10月1日に開館50周年を迎えます。さまざまなイベントを開催しているので、ぜひ、行ってみよう！

期間●12月13日(日)まで
場所●町屋図書館
内容●



①お祝いメッセージを書こう！

館内で配布するメッセージカードに、町屋図書館への「おめでとう」の気持ちを書こう。

②ぬりえをやってみよう！

50周年を記念した、特別なぬりえにチャレンジしてみよう。

10月1日(木)から、①または②の参加者に「町屋図書館特製キーホルダー」をプレゼント！

※なくなり次第終了(1人1個まで)

③「50年のあゆみ」を見てみよう！

開館から今までの歴史を、写真やパネルで振り返ろう。

④おすすめの本の展示コーナー

「町屋」、「荒川区」、「50」、「昭和」など、50周年に関係する本を集めて紹介します。

[問合せ]町屋図書館 ☎(3892)9821

日暮里道灌まつり開催！

日時:10月31日(土)午前10時〜午後3時 場所:日暮里駅前イベント広場

室町時代に江戸城を造ったといわれている武将・太田道灌。太田道灌ゆかりの地の自治体などの皆さんと一緒に、名産品の販売やステージイベントを行う、日暮里道灌まつりを開催するよ。

新作の紙芝居の上演やステキな名産品の販売など、盛りだくさんのイベントだよ。また、10月1日から太田道灌の活躍を都電荒川線の車内で紹介する「都電紅葉・太田道灌号」を運行予定！ぜひ、遊びに来てね！

太田道灌ゆかりの自治体などによる販売

ご当地グッズなどの名産品、荒川区ゆかりの江戸東京野菜である三河島菜の販売などを行います。



ステージイベント

おまつりを盛り上げる演目をたくさん用意しています。今回は「お城博士ちゃん」も来るよ！



手作り甲冑着付けと武者メイク体験

神奈川県伊勢原市の伊勢原手作り甲冑の着付けや「顔師」宮田肇さんによる武者メイクも体験できるよ！



三河島(現在の荒川地域)に残る「山吹の里伝説」とは

鷹狩りの途中で雨に降られた道灌が民家に雨具の「蓑」を借りに行くと、その家の少女は「蓑」ではなく山吹の花の枝を差し出しました。道灌は腹を立てて帰りますが、兼明親王の古歌「七重八重 花は咲けども山吹の 実のひとつだになきぞ悲しき」に基づいて、「蓑」が無いのを「実のひとつだになき」にかけていたものだったと知り、和歌の知識がなかった自分を恥ずかしく思いま。この出来事がきっかけで道灌は和歌の勉強に励んだ、という伝説があります。



新 あらかわ 今昔ものがたり 諏訪台の楽しみ



[問合せ]荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234



「日ぐらしの里名所ひとり案内」部分(東京大学総合図書館蔵)

ここはどこでしょう？ この絵はどこを描いたものかわかるかな？ 江戸時代の名所を描いた絵なんだけど。難しいかな？ 真ん中の建物は諏方神社。その左は境内だよ。諏方神社は台地の上にある。東側は崖だよ。またの名を「諏訪台」といって、江戸名所の一つだったんだよ。

崖の上から見る 青い丸のところで何か棒みたいなものをのぞいている人がいるよ。「とうめかねミせる」って書いてある。望遠鏡が置かれていたんだ。ここから遠眼鏡で見晴らせば、他に比べるものがないほどの、美しい風景が広がっていたんだって。大和郡山藩下屋敷だった六義園(文京区)にいた、ご隠居大名の柳沢信鴻さんが、この遠眼鏡を実際にのぞいたことを日記に書いて

いるよ。12 km くらい向こうの国府台(千葉県市川市)、数百mを隔てた田んぼの馬、あるいは歩く人の衣服や目鼻もよく見えただって(「松鶴日記」天明8(1788)年5月4日条)。今と違ってビルが建っていないから、遠くまで見えただね。眼がよかったのかもしれないけれど。崖の上から投げる 赤い丸のところでは、何か投げている人がいるよ。「かわらけなける」って書いてある。土器っていうのは小さなお皿。それを崖の上から投げていたんだ。ただ遠くまで投げるのが楽しかったんだって(「東都歳事記」)。崖の下にいる人は迷惑だよ。みんなはまねしちゃいけないよ。

崖の上から空を見上げる 諏訪台が、ひときにぎわった日があったよ。毎年旧暦7月26日の二十六夜待ちの日だ。特殊な月の光の中に、阿弥陀如来が観音菩薩・勢至菩薩を従えて、あらわれるんだって。この日、境内には出店も並んでいたようなんだ。え、今も出店が並んでいるって？ そう、次の日27日は、諏方神社のたいさいじつ。今も8月最終週の土曜・日曜の祭りの日に出店が並んでいるのは、その名残といえるかもしれないね。